

進路だより

第4号 文責：小元 祐孝
令和元年 6月24日
角田高等学校・進路指導部

6月29日の進研模試に向けて

6月29日(土)に1年生にとっては、高校に入学して初めてとなる進研模試があります。「何が出るかわからないから対策できない」と思わず、3ヶ月間学習してきたことが理解できているかを試すよい機会にしましょう。今回は、主に1年生のみなさんに模擬試験に対する心構えについて紹介します。2年生は、これから行われる模擬試験を通して新入試の傾向を掴み、対応できる力をしっかりつけていきましょう。3年生は、全国の高校生と勝負していくための大切な試験になります。合格の可能性を把握し、しっかり対策していきましょう。

1 何のために模試を受けるのか？

全国規模のテストで実力を客観的に把握するため！

模試は全国の高校生が、同時期に受ける全国規模の試験です。そのため、模試を受験することで自分の実力が全国でどのぐらいの位置にあるかが客観的に分かります。また、採点結果とともに返却される「成績票」には全国順位・偏差値のほか、教科別評価や設問別成績など到達状況を詳しく分析したデータが載っています。この結果を参考に弱点教科・分野をピンポイントで復習すれば、効率よく学力をアップすることができます。

2 模試と定期考査の違いは何か？

「普段の授業で得た知識が活用できるか」を測るのが模試！

定期考査は決められた範囲の中で、授業内容が定着しているかを確認することがねらいです。模試は、全国規模で行われ、出題範囲も広く、各分野のポイントが知識として身につけているか、それを使いこなす応用力を測ることもねらいです。また、問題はオリジナルなものなので、丸暗記した知識では対応できません。だからこそ、真の実力が問われます。

3 模試にはどんな問題が出題されるか？

大学受験にも通じる、基礎学力を問う問題が出題される！

模試は、基礎的かつ重要な内容や1、2年生は新入試を見据えた問題が出題されます。そのため、模試の問題を解けるだけの力をつければ、高校での学習の基盤となるだけでなく、大学受験に必要な基礎力を養うことができます。

4 模試対策はどうすればよいか？

今までに学んだ範囲で曖昧な分野や基礎を確認しておこう！

模試は「本当の実力」をつけるチャンスです。定理・公式や文法といった基本事項や要点の復習、また、定期考査で間違えた問題をもう一度解くなどして、理解が曖昧な部分はきちんと補強して挑みましょう。また、教科ごとにWINSTEPや模試対策問題集が配布されていますので、模試の傾向を掴むとよいでしょう。**進路相談室の本棚に進研模試の過去問があります。進路資料室のコピー機でコピーして構いませんので、有効に使ってください。**不明な点は進路職員室の先生に相談してください。

5 模試の後の復習こそが大切！！

模試受験直後と、成績票を受け取った日に必ず復習を！

定期考査も模試も、やりっぱなしはよくありません。分からなかった問題の解き方をしっかり復習して定着をはかることが、学力向上への近道です。大学入試センター試験は例年、高校1・2年の履修範囲から約8割も出題されています。模試を復習することは、大学入試の準備としても有効なことなのです。

受験モードへの切り替え！！

～3年次進路保護者説明会～

6月7日(金)に3年生対象に進路保護者説明会を開催しました。当日は、7割以上の保護者の皆様にご出席いただき、ありがとうございました。

県総体が終わり、大半の生徒が部活動を引退し、受験モードへ切り替えを行う時期に毎年実施しています。前半は、進路決定に向けての心構えや手続き等についての説明、進路別の分科会、後半は、生徒が希望する大学や専門学校担当者から、生徒と保護者に対して進路ガイダンスを行いました。生徒は、熱心に説明を聞き、学校の特色や入試制度の理解を深めるとともに、受験に向けて士気を高めていました。

3年生の皆さんは、進路決定に向け、本格的な活動が始まります。今回の進路ガイダンスやオープンキャンパスなどを通して志望先のことをよく調べ、先生方や保護者とよく相談して見通しを持って準備を進めてください。

